

『パックマン』30周年記念企画 中華まん『パックまん』を発売 全国のサークルK・サンクスで2010年1月13日(水)発売

株式会社サークルKサンクス(本部:東京都中央区、代表取締役社長:中村 元彦、以下:サークルKサンクス)と、株式会社バンダイナムコゲームス(本社:東京都品川区、代表取締役社長:鶴之澤 伸、以下:バンダイナムコゲームス)は、バンダイナムコゲームスの人気ゲームタイトル『パックマン』が2010年に30周年を迎えるのを記念して、同タイトルのキャラクターを模した中華まん『パックまん』を、全国のサークルK・サンクス合計6,212店舗(2009年12月末現在)で、2010年1月13日(水)より数量限定で販売します。

今回の商品化に際しては、サークルKサンクスとバンダイナムコゲームスのスタッフが共同で研究し、“味”と“外見”の2つを通じて『パックマン』の世界観を表現する中華まんを開発しました。

ひと目で『パックマン』と認識できるように、中華まん生地を黄色と白色でキャラクターの形状を再現しました。中身は『パックマン』がゲーム内で食べている“ドット”が「クッキー」である設定をもとに、クッキー風味のクリームと砕いたアーモンドを混ぜることで、“ドット”の粒が感じられる食感を表現しています。また、敷き紙には『パックマン』に関する豆知識(全部で4種類)が記載されているので、召し上がった後も、さらにお楽しみいただけます。

両社は、それぞれの分野で培ってきたノウハウをひとつにし、“ゲームの世界観を味わう体験”を通じて、「Enjoy」と「夢・遊び・感動」をお客様に提供します。

【商品概要】

商品名:パックまん(クッキークリーム)

価格:120円(税込)

発売日:2010年1月13日(水)～ 数量限定

発売店舗:全国のサークルK・サンクス計6,212店舗(2009年12月末現在)



パックまん画像



中身の画像



敷き紙イメージ画像(一例)

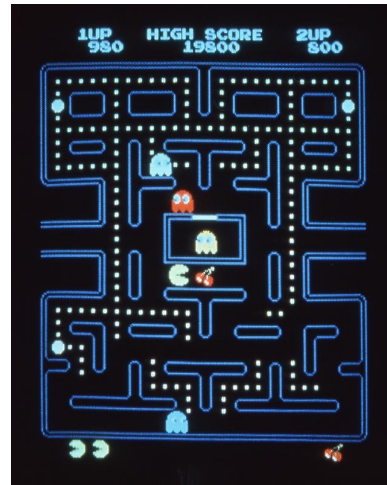
(参考資料)

「パックマン」とは

『パックマン』シリーズは、1980年にナムコ(現バンダイナムコゲームス)が開発したビデオゲームで、斬新かつ分かりやすいゲーム性と、かわいらしいキャラクターが幅広い層に受け入れられ、世界的なブームとなりました。特に米国での人気はすさまじく、1987年までにワールドワイドで約30万台が販売され、2005年6月にはギネス・ワールド・レコーズ社から「最も成功した業務用ゲーム機」に認定されました。現在でも家庭用ゲーム機や携帯電話用アプリなどに移植され、日本を代表するゲームのひとつとして世界中の人々に愛され続けています。2010年5月22日には生誕30周年を迎え、さらに大きく展開していきます。



「パックマン」30周年記念ロゴ



(C)NBGI

アーケード「パックマン」画面

プレスリリースの情報は、発表日現在のものです。発表後予告なしに内容が変更されることがあります。あらかじめご了承ください。著作権表記中の(C)は、 の中にCの表記をしていただきますようお願い致します。